

スカウトみやぎ



2017 / 12. 1
No.45



特集：私のスカウト時代
団訪問・鹿島台第1回
RJCフォーラム2017参加報告



17th NIPPON SCOUT JAMB@REE
開催日：2018年12月1日(日) 10時～16時
石川・珠洲 りふれっしゅ村跡ヶ崎



そなえよつねに
ボーイスカウト

私のスカウト時代

白石第1団 ボーイ隊隊長
八巻仁志

私のスカウトとの出会いは、小学校2年生の時二つ年上の従兄がカブ隊に入隊したことから始まりました。その年の夏、福島県郡山で東北カブラリーが開催され、兄弟等も参加可能で入隊前の私も参加しました。ロープでの壁のぼり等様々なプログラム体験をし楽しかった事を覚えています。当時はまだビーバー隊はありませんから活動はその後しばらくおあずけ、翌春、制服を身に着けようやく正式にカブ隊の仲間入りしたワクワク感を今でも覚えています。

子供の頃の私は、体も弱く喘息を持っていたのもあり家の中で遊ぶのが多い子供であったようで、両親も強くなって欲しいとカブスカウトに参加することを積極的に後押ししてくれました。ただ入隊後も体力の無さから、栗駒の県大会での登山は最後まで登れず、また、ボーイ隊最初のキャンプでも途中ダウンしテント内で休んでいるなど周りからもひ弱なイメージで見られていたかと思います。そんな中6年生秋の長距離ハイキングで体力的に余裕を持って完歩出来、自分に自信を持つことが出来る様になり、その後活動がどんどん楽しくなっていました。



ボーイ隊中学3年の時には、地元白石で「第8回日本ジャンボリー」が開催され初めて全国大会に参加しました。大会関係者を含めると4万人規模のイベントで当時の白石市の人口が約4.2万人、山の中に街が出来た凄いと感じていました。

その2年後に初めての「シニアースカウト大会日本ベンチャー84」また、2年後に「第9回日本ジャンボリー」と続けて開催されました。シニアースカウト大会では地元隊代表として開会式「スカウト宣言」の大役を任せ緊張の中で役割をやり遂げることが出来たことは今でも自分の大きな財産となっています。

キャンプが好き、ハイキングが楽しい、自然の中に居たい、ボーイスカウトの活動で学んだこと体験したことは、今でも大きく自分のなかで生きています。

人との繋がりも大切です、ジャンボリーに参加した仲間とは今でも楽しく会うことができます。

リーダーとなった今、子供たちに一つでも多く伝えていきたいと思います。来年は17NSJ、スカウト達の一つでも多く心に残る体験をして欲しいと思っています。



今年で3回を迎えた「全国防災キャラバン」を、昨年に続いてイオンモール石巻・緑の広場で開催しました。



同キャラバンは、イオンモール株式会社との協働で実施しており、日ごろのボーイスカウト活動の中から防災時に役立つ様々なプログラムを展開し、参加者に防災意識を持っていただくことを目標にしており、当日は約140名の子ども達がプログラムに参加し、併せて加盟員増加へのPR活動もおこないました。



第29回みやぎの・まつりが、10月15日に宮城野区榴ヶ岡公園で開催されました。当日は気温が低く肌寒い1日でした。

今回の出し物は、仙台地区のモンキーブリッジと仙台12団の「クラフト体験コーナー」そして仙台35団の「立ちかまど」(展示品)です。



クラフトコーナーは小石や木の枝の輪切りに絵を描いて、ペンダントにするもので、絵を描くことが好きな子どもたちがたくさん集まって、100人分の材料が無くなり盛況でした。

モンキーブリッジ体験者には、日連のパンフレットに1団と35団の入団案内を入れ354部を配りました。広報委員会としては加盟員拡大につながることに期待しております。

仙台第28団OB会設立

(仙台第28団 浅沼 勝)

仙台第28団OB会が発団60周年を期して設立されました。

当28団は、33年11月に日連に登録。翌年の1月31日に、中田中学校の教室を会場に発団式が行われ現在に至っています。昨年10月頃からOB会設立の機運が高まり、準備委員会を設立し会則案、名簿案等を検討し、10月21日(土)に参加者は31名で設立総会を実施、会則案、役員案が満場一致で可決され設立総会が終わり、続いての懇親会では久しぶりに会った顔あり、初めて会った顔あり、まさかこんなところでと言う顔もあり、一期生7名参加の中で60年ぶりの再会もあり、本当に意気投合しながらの懇親会でありました。



会長には、一期生の柿沼富雄さんが選出されました。柿沼さんは設立から60年にわたって活動されている28団の生き字引です。

その柿沼さん所有の記念品を会場に展示、発団当時の帽子(あぶらげ帽子)、手旗、ストッキング、ネッカチーフ、10、25、35、50周年の「あゆみ」や記念大会のワッペン、ネッカチーフ等々100点ほどが展示されました。

次回の再会を楽しみに、懇親を深めていきたいと考えています。

平成29年10月21～22日（土・日）東部地区合同くまキャンプを水の森公園キャンプ場にて開催しました。今年は東部地区のくまスカウトの中から6名が参加してくれました。

今回は6名を2組に分け、テントサイト設営後に短時間に組集会を行い、水の森公園内をハイクしました。ハイクでは50m歩測、ソング披露、コンパスを使った課題など、ボーイ隊の要素やカブ隊の総仕上げ的な課題に取り組み、どちらの組も仲良く協力しながら活動ができました。

夕食は野外調理です。火起こしなども体験しながら美味しいご飯が出来ました。

夜になって雨が降ってきたため、キャンプファイアは中止とし、屋内でスタンプ大会を行い、大変盛り上がりました。

翌日は台風前で雨がさらに強くなるとのことで、朝食を食べてからセレモニーをして撤営作業を実施しました。

全員で協力して素早く片付けることが出来ました。最後まで強い仲間意識が続いていました。このメンバーでまた次回の地区行事や、ボーイ隊への上進後での行事でも一緒になって欲しいですね。



ほっぷ☆すてっぷ☆デイキャンプ！

～親子でリフレッシュ～

（塩釜第1団 高橋一太）

平成29年10月28日（土）松島町野外活動センターで開催された「みやぎ心のケアセンター」主催の「ほっぷ☆すてっぷ☆デイキャンプ！～親子でリフレッシュ～」に参加してまいりました。

宮城県連盟は共催団体として火おこしゲームとレクリエーションの担当でしたが、昨年度は一人しか成功しなかった火おこしゲームでは、今年小学生の女の子が二人成功し、焼き芋の種火にすることができました。

災害対策用のアルファ米を使ったお昼のカレーライスも好評で、子供たちも大人もおかわりをしていました。午後のレクリエーションでは泉1団VSスカウトがゲームマスターとなって、子供たちを楽しませていました。



また、子供たちが火おこしでつくった種火から焼き上げた焼き芋は非常に好評で、参加者は皆さん美味しそうに食べていました。

天気予報は曇りでしたが、天候にも恵まれ、参加した初対面の子供たちも打ち解けて、楽しそうにプログラムに参加しており大変素晴らしいイベントになったのではないかと思います。



団訪問 鹿島台第1団紹介

鹿島台第1団 団委員長 安倍毅彦

鹿島台第1団は1968年（昭和43年）に鹿島台ライオンズクラブのご支援をいただき「宮城第416団」として創立され、本年度で満50年を迎える地域団です。現在は、ビーバー隊からローバー隊のスカウト15名とリーダー・団委員8名の計23名が在籍しています。

日頃の活動は、概ね月に2回、JR鹿島台駅北部の以前は大きな納屋だった建物をスカウトハウスとして地域の方からお借りし、隣接する広大な畑をフィールドとしてプログラムを行っています。

恒例の団行事としては、団キャンプ、1級挑戦キャンプ、鹿島台互市での募金活動、オーバーナイトハイキング、新年餅つきキャンプなどがあります。その中から、オーバーナイトハイキングを紹介します。このプログラムは、鹿島台第1団の伝統行事として約40年間続いているものです。元旦の午前零時に鹿島台神社にお参りをして、東松島市浜市まで約20Kmの道のりを夜通し歩き、初日の出を拝み一年の健康とスカウト活動の充実を願うものです。元々は、高校受験の合格祈願として始まったものです。これからも10年・20年と続けていきたい行事です。



スカウト数は、ここ3ヶ年少しずつではありますが増加しています。スカウト募集のポスター掲示、鹿島台互市での募集パンフレットの配布、日頃の隊集会への体験入隊等を行い、募集活動を行っています。

今後とも、地域に密着した活動を行ってまいりますので、よろしくお願ひします。

R J C フォーラム 2 0 1 7 参 加 報 告

白石第6団ローバー隊 八巻皓仁

2017年10月7日から9日にかけて大阪で行われた、全国ローバースカウト会議主催のRCJフォーラム2017に参加してきました。全国から100名以上のローバースカウトが集まった今回のフォーラムは、各自がそれぞれ採択文とアクションプランをつくるといういつもと違う方式で行われました。似通った課題を持つスカウト同士でグループを組み、互いの地域の状況や意見を交換し合うということで、私は「活動への参加促進」のテーマを持つグループに振り分けられました。人口の多い県のスカウトからは、人数が多いことで統率が難しくなるなど、東北とは違う問題点があることを知りました。私は、このフォーラムを通して、宮城でのスカウト活動への参加促進のため、宮城ユースでの活動を定期的に行い、なおかつそのことをベンチャー世代に教えていくことが重要ではないかと考えました。

県連だより

今年度県連では、安全促進拡大フォーラム、セーフ・フロム・ハーム研修会・信仰奨励賞指導者研修会が、開催されました。

安全促進拡大フォーラムは、日連安全委員会の水戸守雅之氏を講師に迎え、むつ市、寒河江市からの参加者も加えて30名が受講しました。様々な事故事例から、事故発生防止に向けた原因分析として「団・隊の安全管理のしくみ、ルールの不備」があり、その原因を排除しない限り事故は人や形、時間や場所を変えて発生する。そうさせないために、自団、隊の安全管理の仕組みの弱点は何か？それをどう改善すべきかを考えていかなければならないと感じました。



安全促進拡大フォーラム：7月9日



セーフ・フロム・ハーム研修会：8月27日

主任講師 佐藤浩伸 氏

信仰奨励賞指導者研修会：11月19日

講師 日連宗教委員会 小林 透 氏

グループごとに、スカウトウオン・サービスを計画しての研修。



ボーイスカウト募集中



保護者の皆様へ

なろう。一人前に。一人前って意外とむずかしい。
自分のことは自分です。困難に立ち向かえる。
こまってる人の助けになる。そんな自分になるために。
そなえよつねに“ボーイスカウト”
ボーイスカウトとは、仲間たちと自然の中で
遊びながら、いろいろなことを身につけて、
より良き社会人を目指す活動です。

お問い合わせ先

□ 県連ホームページタスクチームからのお知らせ

平成25年7月に開設した県連ホームページには、
多くのアクセスをいただいております。
今後も県連行事を始め各地区・各団の活動をアップしていきますので、
情報をお寄せください。

Facebookの情報もご覧頂き「いいね!」「シェア!」を拡散してください。

- ◇ 県連HP <http://www.scout-miyagi.jp/>
- ◇ 県連 Facebook ボーイスカウト宮城県連盟



検索



■ 編集後記

◇前号に続き、特集記事を掲載しました。ご多忙の中を寄稿頂いた各位に感謝いたします。

◇何十年ぶりかで研修会に参加して、リーダーとして活動するために研修を受講する事がいかに大切かを改めて感じました。また、それぞれの事業を行うにあたり、如何に多くの方々が関わり、実施されていることを目の当たりにし、感謝の念でいっぱいです。

◇日々寒くなりますが、風邪に気をつけて良いお年をお迎え下さい。 K

■発行 日本ボーイスカウト宮城県連盟

■発行者 理事長 和田剛和

■編集 宮城県連盟組織拡張広報委員会
委員長 佐竹孝喜

委員 鈴木美恵子 松本康男
富士原孝一 岩本日出貴
柿沼富雄 大沼繁雄 渋谷純

〒985-0841

宮城県多賀城市鶴ヶ谷1丁目4番1号
(宮城県多賀城分庁舎内)

TEL 0220-355-6265 / FAX 022-355-6267

E-mail bs-miyagi@r6.dion.ne.jp